

5・7・5に乗せて



愛媛若葉ひろみ句会

主語のなき話ころころ日向ぼこ

伊藤 京

冬ぬくし猫にあくびをもらいける

高田 弘子

来し方を想ふ背に受く隙間風

浜田 千鶴

干し柿や指定席なり軒下は

藤田 光子

靴下の小指の余る今朝の冬

福本 恵子

有終の手本としたし枯葉かな

井谷 けい

晩秋の橋渡る風友逝きぬ

高橋 妙

陽に映えて風の駆け来る芒原

松岡 寛孝

愛治俳句会

寒泳の老師大河に深き礼

久保田由布

豆を撒く当たるもの無き外の闇

氏本佐喜恵

兄の星探して見上ぐ冬銀河

金子 和子

庭の梅二三輪咲く誕生日

木原 幸江

どんど焼どどんと爆ぜし孟宗竹

末廣 典子

初夢に普通ひし小学校

善家 初穂

深閑しんかんと新年迎ふ老夫婦

土居原佳子

暁のヘッドライトに枯芒

古谷 久代

扉無き茶堂さどうの床に薄ら雪

渡邊三代子

消費生活だより



こんなSMSやメールが届いたら警戒してください！

通販サイト、クレジットカード会社、宅配業者などから

- ✓ 支払方法に問題がある。
- ✓ 不正利用が確認された。
- ✓ カードの不正な取引があった。
- ✓ 支払が滞っている。
- ✓ 未払いの税金がある。など

パスワードやID、暗証番号、クレジットカード番号などの個人情報をだまし取るフィッシングメールかもしれません。

トラブルにあわないために

- ・メールやSMSに記載されたURLには
⇒容易にアクセスしない。
- ・フィッシングサイトにアクセスしても
⇒個人情報絶対に入力しない。
- ・カード情報などを入力してしまったら
⇒すぐにカード会社に連絡する。
- ・日頃から⇒ブックマークした正規のURLやアプリからアクセスするよう心掛ける。

困ったときは鬼北町消費生活相談窓口(45-1111)にご相談ください。

きほくのまち人探訪

「女子プロサッカー“WEリーグ”を目指して」



たけだ 武田
うら は 麗さん
うえやま ひろえ 泰枝さん
上山

大洲市の女子サッカーチーム「菅田 SSS パンサーズ」で活躍している、近永小学校6年生の武田麗さん（写真左）と、日吉小学校5年生の上山泰枝さん（写真右）。12月3・4日に高知県で行われた、JFA U-12 ガールズゲーム 2022 四国大会において、3位に入賞しました。

普段は別々のスポーツ少年団で活動している、麗さんと泰枝さんですが、菅田 SSS パンサーズには一緒に通っていて、2人ともチームに欠かせない存在となっています。

「仲間と協力してプレーすることが楽しい」とサッカーの魅力を話す麗さんは、4歳のころから父の指導でサッカーに打ち込

み、今では県大会で最優秀選手に選ばれるほどの実力者。泰枝さんにとっては良きお手本であり、共に技を磨き合えるお姉さんのような存在です。

四国大会では、2位以上の成績で全国大会に進めますが、今回は3位と一步届かず悔しい結果に。6年生の麗さんは全国大会出場の夢を、5年生の泰枝さんに託します。

“なでしこジャパン”の活躍で注目を集めた女子サッカー。まだまだ競技人口の少ないスポーツですが、学校も学年も違う2人が切磋琢磨しながら、これからの女子サッカーを盛り上げていきます。

ALTの鬼の里Diary ~Nicole編~

「Ticket machine is wonderful!!」



わたしが日本で好きなことの一つに、券売機を使っているレストランがあることです。アメリカでは、レストランの従業員の動きが遅かったり、注文が間違っていたりすると、顧客から頻繁に苦情が寄せられます。また、従業員は非常に忙しいか、十分なスタッフがいないことがよくあります。アメリカも日本のように券売機を使うべきだと思います。

券売機があれば、メニューを簡単に確認できます。これにより、お客さんが希望するものを選択する時間が増えます。私は

日本語が上手に話せないのも、券売機があると、恥ずかしい思いをせずに料理を注文することができます。また、このシステムはとても効率的だと思います。

最近、道の駅「森の三角ぼうし」のレストランで、券売機を使ってきじカレーを注文しました。初めて食べましたが、とても美味しかったです。従業員の人も、とても親切でしたが、券売機のおかげで、あまり話す必要はありませんでした。券売機レストランはとても魅力的だと思うので、他の外国人にもオススメしたいと思います！

地域おこし協力隊活動日記

「一面の雪化粧に感動しました！」

地域おこし協力隊1年目
おおむら さとし
大村 怜



鬼北町では12月18日に積雪を観測しましたね。これは鬼北町でも早い積雪であるとか。東京ではここ3、4年本格的な雪を見ていなかったの、思わず気分が高まってしまいました。

私が鬼北町で迎える初めての冬はとても印象深いものとなりました。とりわけ今は日吉地区に暮らしているため、足首まで埋まる雪の量に驚きです！

雪景色を眺めていると、雪の重みで枝の垂れ下がった木を見かけることがあります。まるで木が深々と頭を下げているようで、白銀の世界も相まってより一層、厳かな雰囲気を感じ取ります。自らの実の大きさに

頭を垂れる稲穂とはまた異なる趣であり、自然の重み、外部からの圧力に耐えるという様は、厳しい環境に根を下ろすことの大変さとたくましさを教えてくれているように感じます。季節は2月になり、春の息吹もすぐそこまで来ているのではないのでしょうか。雪の重みに耐える木を見習い、私も鬼北に根を下ろす努力をしていきます！



▲自宅からの雪景色